

平成28年度第1回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成28年4月25日（月）13時00分～13時55分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
学術情報リサーチセンター長	村尾 治彦
アドミニストレーション研究科長	宮園 博光
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、前田総務課長、福島地域連携・研究推進センター長、安達学術情報リサーチセンター事務長、教務入試課築地班長、同課石川参事、同課松本参事

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

(1) 審議事項

① 平成29年度入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から資料1に基づき、「学部入試については、特別選抜は昨年度と同様に「推薦入試」、「社会人入試」、「帰国子女入試」、「私費外国人留学生入試」を実施する。自己推薦型入試及び一般入試（前期・後期日程）も昨年度と同様に実施する。募集人員については、環境資源学科の推薦入試「農業・林業・水産科」を昨年度の2名から若干名に、一般入試の後期日程を昨年度の10名から2名増の12名に変更する。

入学者選抜の実施方法については、「くまもと夢実現」推薦入試に他の推薦入試と同様「全体の評点平均値が4.0以上の者」という推薦要件を課すこととし、既に公表済みである。大学院の入試についても、昨年度と同様に実施する。入試広報については、オープンキャンパス等を予定している。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成30年度入学者選抜の実施教科・科目等について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成30年度一般入試の実施教科・科目等については、平成29年度からの変更はない。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 授業料未納に伴う学生の除籍について

事務局総務課から、「全ての除籍対象者から本日までに授業料の納付が確認できたため、審議の必要はなくなった。」との説明があった。

(2) 報告事項

① 平成28年度一般入試における追加合格者決定について

事務局教務入試課から、資料4-1及び資料4-2に基づき、「前期日程で日本語日本文学科において欠員が4名、後期日程で居住環境学科において欠員が3名、食健康科学科において欠員が1名生じたため、3月28日に追加合格者決定の手続きを行い、入学定員を確保した。」との報告があった。

② 平成28年度入学者の状況について

事務局教務入試課から、資料5に基づき、「学部の入学者の状況は、480名の定員に対して、527名の入学があり、男性の割合は35.7%と昨年度より0.5ポイント減、県内出身者は78.2%で昨年度より8.0ポイント増加している。学部の定員充足率は、全体で109.8%。高校別入学者数の多い高校も例年の顔ぶれである。大学院の入学の状況については、全体の定員充足率は67.2%である。」との報告があった。

③ 平成27年度4年生アンケート調査結果について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「このアンケートは、平成20年度から実施している。調査結果については問2から問7までは例年と全体的な傾向は同じである。問8の「親戚や後輩等に本学を勧めるか」という問いについては、「勧めたい」、「本人の志望動機が本学に沿っていれば勧めたい」とする回答の合計は昨年度より上昇したが、「勧めたい」が減少して、「本人の志望動機が本学に沿っていれば勧めたい」が増加しており、内訳に変化があった。この点が昨年度の調査結果と異なっている。」との報告があった。

④ 平成28年3月卒業者の就職等決定状況について

事務局学生支援課から、資料7に基づき、「就職率は、平成28年3月31日現在の数値が94.0%であり、これは昨年3月31日の数値93.4%を0.6ポイント上回っている状況にある。各学部別では文学部では93.2%、環境共生学部では95.5%、総合管理学部では93.7%となっている。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成28年度第2回 5月23日(月)午後1時~本部棟2階大会議室

5 閉会